

F X ロングショート 戦略レポート

高金利通貨ヘッジ編



目次

目次	1
1 サヤトレ LS とは	2
2 ロングショート戦略の説明	4
3 FX の説明	9
4 高金利通貨	12
5 相関係数	18
6 損益合成チャート	23
7 損益合成シミュレーション結果	25
8 ロングショート戦略の作り方	27
9 FX ロングショート戦略（損益合成シミュレーション）	29
10 FX ロングショート戦略（保有比率の調整）	32
11 FX ロングショート戦略（ヘッジ対象の選定）	35
12 FX ロングショート戦略（組入れの選定ポイント）	37
13 FX ロングショート戦略（レバレッジの決定）	41
14 FX ロングショート戦略（売買ルールの作成）	47
15 FX ロングショート戦略（まとめ）	50
16 最後に	51

1 サヤトレLSとは

サヤトレLSは、株式・株価指数・FX・商品先物指数などを
買いと売りを同時に両建て保有するロングショート戦略に特化したサイトです。

ロングショートしているポートフォリオ内の損益合計をチャートとして表示する事で長期的に利益が出ているロングショートの組み合わせをシミュレーションする事が出来ます。

シミュレーション分析は、会員登録なしで使える無料版と
より高機能なシミュレーション分析が可能な月額有料版がございます。

■ サヤトレLS 損益合成シミュレーション

<https://sayatrade.com/feature/simulation.php>

サヤトレLSは、インターネット上で利用するシステムで
膨大な金融データを1時間毎のリアルタイムに取得して
全てクラウド上（インターネットサーバー内）で処理を行っております。

ご自宅のPC、会社のPC、スマートフォン（iPhone・Android）タブレット端末
（iPad）などデバイスを選ぶ事無く、全てのパソコンでご利用可能です。

急な相場変動にも安心して保有できるロングショート戦略の
組み合わせを検証いただき投資にお役立てくださいませ。

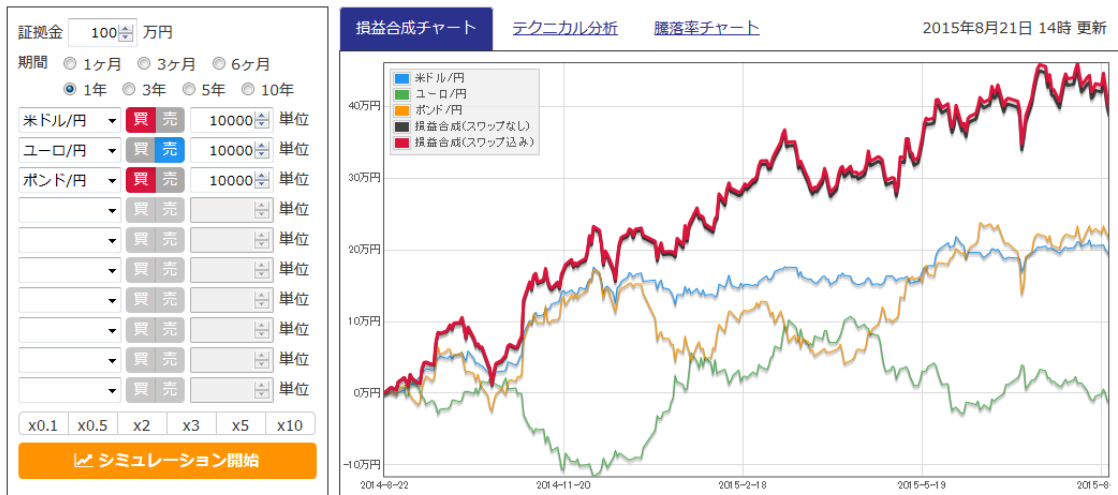
■ サヤトレ LS 損益合成シミュレーション機能（イメージ）

サヤトレFX 運営さん | マイページ | ログアウト



会員限定 FXロングショートレポート(PDF)
ダウンロードはこちらから

損益合成シミュレーション
騰落率比較チャート
相関係数一覧表
政策金利一覧表



損益合成シミュレーション結果

証拠金	1,000,000 円	投資金額	4,546,700 円	レバレッジ	4.55 倍
		シミュレーション期間		直近一年	
スワップ 合計金額	9,727 円	0.97 %	9,727 円	0.97 %	
損益合計 (スワップなし)	386,600 円	38.66 %	386,600 円	38.66 %	
損益合計 (スワップ込み)	396,327 円	39.63 %	396,327 円	39.63 %	

No	保有通貨ペア	投資単位	保有比率	スワップ 合計金額	損益 (スワップなし)	損益 (スワップ込み)
1	米ドル/円	買 10,000	27.04 %	1,763 円	190,400 円	192,163 円
2	ユーロ/円	売 10,000	30.52 %	658 円	-11,400 円	-10,742 円
3	ポンド/円	買 10,000	42.44 %	7,306 円	207,600 円	214,906 円

自社運営サイト

株・為替(FX)チャートをリアルタイム表示！
みんなでコメントしよう！
MarketLive 無料登録

株価が上がっても下がっても
利益が出せるサヤ取り投資！
サヤ取り投資に最適な銘柄ペアを自動で
検索できる無料ツール!!

サヤ取り投資で
今注目の銘柄が
ランキングで分かる！
サヤ取りリンク 全て無料で使えます！

無料版は、損益合成シミュレーション期間が1年のみ
シミュレーション投資対象も3つまでと機能に制限がかかっております。

2 ロングショート戦略の説明

まずは、ロングショート戦略の基本について解説させていただきます。

ロングショート戦略とは、将来上昇が期待される銘柄を買い（ロング）下落が期待される銘柄を売る（ショート）両建て投資戦略です。

金融業界では「買い」をロング・「売り」をショートと呼びます。

- 投資対象を「買う」 = 「ロング」
- 投資対象を「売る」 = 「ショート」

ロングショート戦略は、相場が上昇・下落どちらに動いても市場の変動に左右されない安定した運用が可能なヘッジファンドの代表的な運用手法です。

一般的には、割安な銘柄を買い（ロング）・割高な銘柄を売る（ショート）構成を基本としますがロングショート戦略は、様々な応用が可能です。

基本構成とは反対に上昇トレンドの銘柄を買い（ロング）下落トレンドの銘柄を売る（ショート）事で利益を狙う事も可能です。

何を買って・何を売るかの選定条件がロングショート戦略では重要です。

買い（ロング）と売り（ショート）を同時に保有する事を総称して「両建て売買」その他に「サヤ取り」「アービトラージ」などと呼ばれるケースもあります。

通常、投資は安く買って高く売る値上がりした分が利益になる
「投資=買い」のイメージが一般的に強いと思います。

しかし買い保有だけの投資の場合、どれだけ魅力的な銘柄に投資していたとしても金融市場全体が下落相場の際には、魅力的な銘柄も一緒に値下がりして損失となってしまいます。

日本の個人投資家には、あまり知られていませんが
投資の世界では値下がりを見越して利益を狙う事も可能です。

- 買い（ロング） = 値上がりした分が利益・値下がりした分が損失
- 売り（ショート） = 値上がりした分が損失・値下がりした分が利益

上がれば儲かるロングと下がれば儲かるショートを同時に保有する事によって、日々上下変動する金融市場の波を抑えながら安定して利益を狙うのがロングショート戦略の仕組みです。

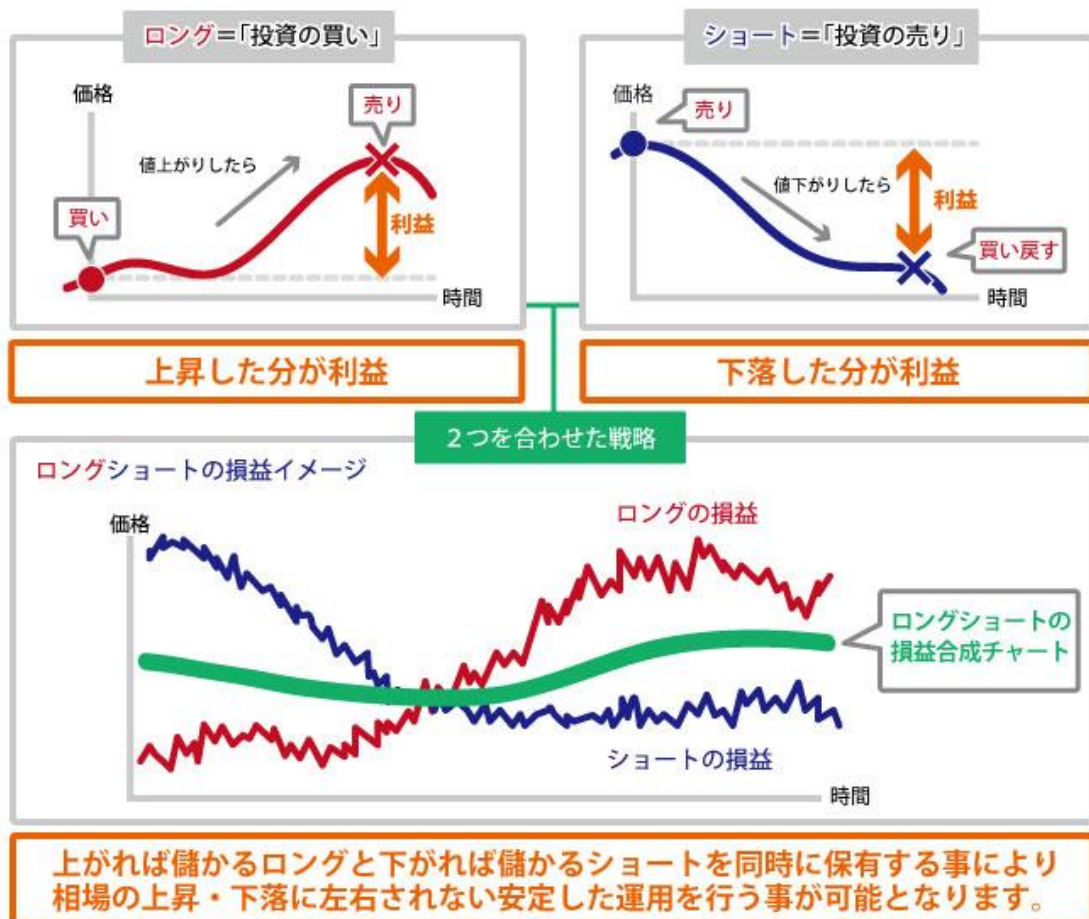
- 株価が上がると予想する銘柄を買い（ロング）
- 株価が下落すると予想する銘柄を空売り（ショート）

ロングショート戦略は、上記のように「買い」と「売り」を同時に組み合わせて金融市場の相場変動を軽減しながら投資収益を目指します。

ロングショート戦略は、個人投資家には馴染みのないニッチな投資戦略ですが海外のプロ投資家の多くが基本戦略として使う伝統的な投資戦略です。

両建て売買の理論は、投資の世界において非常に効果が高くその理論を個人投資家が理解すると投資戦略の幅も大きく広がることでしょう。

■ロングショート戦略のイメージ図



【金融市場のサヤの一例】

- ・ 同一商品の限月間のサヤ（昔の一般的なサヤ取り）
- ・ 日経平均先物と現物の瞬間的なサヤ（アービトラージ）
- ・ トヨタ株とホンダ株のサヤ（ペアトレード）
- ・ トヨタ株と自動車 ETF のサヤ
- ・ 銀行株 ETF と不動産株 ETF のサヤ（業種間ロングショート）
- ・ 日経平均と TOPIX のサヤ（NT 倍率）
- ・ FX の取引会社の通貨間のサヤ
- ・ FX の取引会社のスワップのサヤ（スワップアービ・金利裁定取引）
- ・ 転換社債と株価のサヤ
- ・ 金とプラチナのサヤ（似たような商品）
- ・ 原油とガソリンのサヤ（似たような商品）
- ・ NY 原油と WTI 原油のサヤ（同じ原油でも市場が違う）

近年、技術の進化から金融市場は IT 化が進み金融市場で
サヤを取るには 0.1 秒以下を競うスピード勝負となりつつあります。

人間がコンピュータの発注スピードに勝つ事は出来ません。

本レポートでは、瞬間的なサヤを取る手法ではなくリスクを減らして
利益を狙える投資戦略の一例としてサヤトレ LS を活用して実践する
FX ロングショート戦略について解説させていただきます。

なお FX の取引ルールについて簡単に解説を行いますが
基本 FX をご存知の方に向けてレポートを執筆させていただきました。

為替変動リスクをヘッジする概念につきましては
FX 初心者の方に少し難しい内容になると思います。
そして後ほど繰り返し書かせていただきますが
FX で失敗する最大の要因は「レバレッジ」です！

FX は危ない投資という印象をお持ちの方は多いですが
FX が怖いのではなくレバレッジが怖いとお考えくださいませ。

多くの場合がハイレバレッジで取引を行い
予想とは逆の方向に推移して大きな損失となります。

本レポートは、高レバレッジではない内容で書かせていただきました。

投資戦略の一つとして、ご参考にさせていただければ幸いです。

3 FXの説明

FXは、外国為替証拠金取引の略で日本円と米ドルなど異なった2つの通貨を転換することで利益を狙う投資です。

円高や円安など通貨価値の上下によって損益が変動します。

FXの大きな特徴は3つです。

【FXの3つの特徴】

- 1、レバレッジが最大 25 倍まで活用出来る
- 2、「買い」だけではなく「売る」ことが出来る
- 3、スワップ（金利）の概念が存在する

特徴1つ目のレバレッジが25倍まで活用出来るという事は運用資金の25倍まで投資出来るという事を意味します。

つまり100万円の運用資金があれば・・・

100万円×25倍=2,500万円まで投資が出来るという意味です。

この25倍というレバレッジは小額からでも投資が可能な素晴らしい制度なのですが使い方を間違えると大ケガをします。

FXで投資を行う際に「レバレッジ」は一番注意しなければならないと覚えておいてください。

特徴2つ目は、通貨を「買い」だけではなく「売る」事も出来るので相場の上下に関係なく利益を狙う事が可能です。

今後、米ドルの価値が下がると予想すれば米ドルを売る事で利益を狙う事が出来ます。

FXは、株式の空売りの信用口座のような特別な申請は必要ありません。

FX会社で口座開設が完了した時点で「買い」も「売り」も両方可能です。

特徴3つ目ですがFXには、スワップという概念が存在します。

スワップを簡単に言い換えると「通貨の金利」とお考えください。

高金利の通貨を買った場合は、スワップ金利を受け取ることができます。逆に高金利通貨で売った場合は、スワップ金利を支払わなければなりません。

そしてスワップは定期預金のように年に1回まとまって受け取るものではありません。

高金利通貨を買っている場合、日々スワップ金利を受け取る事が出来ます。

日本の通貨「円」は、世界トップクラスの低金利通貨です。

よって日本円で他国の通貨を買った場合にはほとんどの場合、スワップ金利を受け取ることが出来るのです。

【FXの損益構造】

- ・ 円安と円高による為替の上下変動の損益
- ・ 通貨間の金利差によるスワップの損益

【FXのスワップ】

- ・ 低金利通貨売り + 高金利通貨買い場合 = スワップを受け取れる（収益）
- ・ 高金利通貨売り + 低金利通貨買い場合 = スワップを支払う（損失）

簡単ではございますが FX の基本的な説明は以上とさせていただきます。

次の章以降に解説する FX ロングショート戦略は
FX の基本戦略を理解した上での応用となります。

簡単そうに見えますが奥が深く初心者には難しいので FX について
しっかりと基礎をご理解を深めてから実践される事をお勧めします。

お勧めの FX の入門書をご紹介しますので
初めてのの方は、ご参考にしてください。

■ はじめての人の FX 基礎知識&儲けのルール

<http://amazon.co.jp/o/ASIN/4883995321/investars0e1-22/ref=nosim>

■ 一番売れてる投資の雑誌ザイが作った「FX」入門

<http://amazon.co.jp/o/ASIN/4478008418/investars0e1-22/ref=nosim>

4 高金利通貨

ロングショート戦略も色々と手法がありますが本レポートでは
高金利通貨に投資して長期的にスワップで稼ぐ手法について解説を行います。

日本円の金利は、現状ほぼ 0 に近い水準であり
銀行で定期預金をしてほとんど金利はつきません。

しかし世界の通貨を見ると高金利な通貨が多くあります。

【政策金利ランキング】 2015 年 6 月

1	ブラジル	13.75%
2	ロシア	11.50%
3	トルコ	7.50%
4	インドネシア	7.50%
5	インド	7.25%
6	アイスランド	6.00%
7	南アフリカ	5.75%
8	中国	4.85%
9	フィリピン	4.00%
10	ニュージーランド	3.25%
11	マレーシア	3.25%
12	メキシコ	3.00%
13	チリ	3.00%
14	オーストラリア	2.00%

このような高金利通貨は国の政策によって外国人の投資を制限し規制によって投資できない通貨もありますが日本円に比べると大変魅力的な金利といえます。

日本人に人気の高いオーストラリアドルを長期的に買っていた場合どのような投資結果になったのか検証したのが下記のチャートです。

■豪ドル 10年間の損益チャート（サヤトレ LS）



上記は、投資資金 100 万円で 1 万豪ドル投資した際の過去 10 年間の損益チャートを表示した折れ線グラフです。

2008 年にリーマンショックの円高で 20 万円以上の損失になっておりますがその後底打ちして長期的に円安の上昇トレンドが継続しているのが分かります。

一般的に投資する際は、ローソク足チャートを見る方が多いと思いますので10年分の豪ドルのローソク足チャートも用意しました。

■豪ドル 10年間のローソク足チャート (Yahoo ファイナンス)



当たり前ですがこの2つのチャートは全く同じ動きをしております。

そして10年間豪ドルに投資した結果ですが投資スタートの位置からすると現在は、少しだけ円安になっている程度でほとんど為替差益は出ておりません。

チャートを確認しただけであれば10年投資した割にはあんまり儲かっていないように感じるではないでしょうか？

しかし上記の個人投資家がよく確認するローソク足のチャートは

実際に豪ドルに投資した際の正しい結果を表しておりません。

その理由は、**10年間保有して受け取り続けた豪ドルの高金利スワップが為替の値動きのみを表示したローソク足には反映されていないからです。**

10年間継続して高金利の豪ドルスワップを受け取り続けた投資家の利益を表した豪ドルの損益チャートは下記のような形となります。

■ 豪ドル 10年間のスワップ込み損益チャート（サヤトレLS）



上記の黒い折れ線グラフは先と同様に豪ドルの値動きを表しています。

そして赤い折れ線グラフは豪ドルを保有した際に受け取り続けた高金利スワップを反映させた実際に投資した結果を表しております。

基本的な値動きは、同じですが日々高金利スワップを受け取り続けた分
赤い折れ線グラフは黒い折れ線グラフよりも上回って推移しております。

**この赤い折れ線グラフが実際に個人投資家が
実際に投資した際の損益を表しており重要です。**

サヤトレLSでは過去10年間の対象通貨の政策金利を
実際に投資した時期の金利に当てはめて自動でシミュレーション可能です。

現在2015年8月のオーストラリアの政策金利は2.00%ですが
過去10年間で金利が高かった2007年～2008年は7.00%前後ありました。

2007年～2008年に投資している期間は7.00%前後のスワップを反映して
現在、毎月見直しされる各国の政策金利もリアルタイムに反映を行い
実際の投資と出来るだけ損益を近づけるような設計としております。

■豪ドル10年間の投資結果（サヤトレLS）

No	保有通貨ペア	投資単位	保有比率	スワップ 合計金額	損益 (スワップなし)	損益 (スワップ込み)
1	豪ドル/円	買 10,000	100.00 %	366,125 円	78,100 円	444,225 円

10年間で受け取ったスワップ合計金額 = **+366,125 円**

黒い折れ線グラフ = 損益（スワップなし） = +78,100 円

赤い折れ線グラフ = 損益（スワップ込み） = +444,225 円

10年間豪ドルに投資した際に合計444,225円の利益となる結果ですがそのほとんどがスワップが稼いだ利益という事が分かります。

**外貨に投資して円高になるか円安になるか分かれば一番ですが
実際は、相場の上下を予想するのは難しいのが投資の実情です。**

しかし金利は、保有している期間に応じて必ず貰えます。

高金利通貨は長期的に保有し続けるほどスワップを受け取り時間の経過と共に負けにくい投資になるのです。

これが高金利通貨の長期投資の優位性です。

しかし高金利通貨は、値動きが激しい傾向にありリーマンショックのように短期間で高値から3割以上も値段が暴落する事もあります。

100万円の運用資金に対して1万豪ドルの投資はレバレッジ1倍程度の非常に堅実な投資と言えます。

しかし実際のFXでは5万円ほどあれば1万豪ドル投資する事が可能です。

日々の高金利スワップの誘惑からレバレッジを大きくしてはいけません。

ご自身のリスク許容度に合わせてレバレッジ調整して万が一の金融危機でも破産しない運用を行う事が大切です。

5 相関係数

高金利通貨を長期的に保有しスワップで稼ぐ考え方は一般的な長期投資です。

しかし日々の為替の価格変動リスクによって年間で得られるスワップよりも価格変動によって年間で得られるスワップ以上に一瞬で損する事もあります。

スワップ以上に為替の損益変動は大きく、一度大きく損失を出してしまうとその損失を取り戻すために何年間も我慢し続けなければならない事もあります。

F Xロングショート戦略は、高金利通貨を買い保有してスワップは受け取り「買い」だけ行う片張り取引よりもリスクを減らす事が一番の目的にあります。

為替変動のリスクをゼロにする事は出来ません。

片張りした際に 10 あるリスクを 5 に引き下げるようなイメージです。

そして投資の大前提ですがリスクが下がるほどにリターンも少なくなります。

片張り取引で買っていた場合は円安で儲かったはずの利益がヘッジ目的にロングショートする事によって円安の恩恵を受けない事もあるでしょう。

現在の相場トレンドを読んで円安の恩恵が受けられる持ち方などもロングショートの組み入れ対象保有比率を調整する事により投資家自身でコントロールすることが可能ですので慣れた際には実践ください。

それでは実際にどのようにすれば高金利通貨の価格変動リスクを減らす事が出来るのかについて具体的に解説してまいります。

一番簡単な方法としては、高金利通貨と似た値動きをする他の通貨を探し高金利通貨を「買い」高金利通貨と似た値動きをする通貨を「売り」ます。

具体的な例として豪ドルと加ドルを例にして解説します。

■ 豪ドルと加ドルの 10 年間の価格変動比較



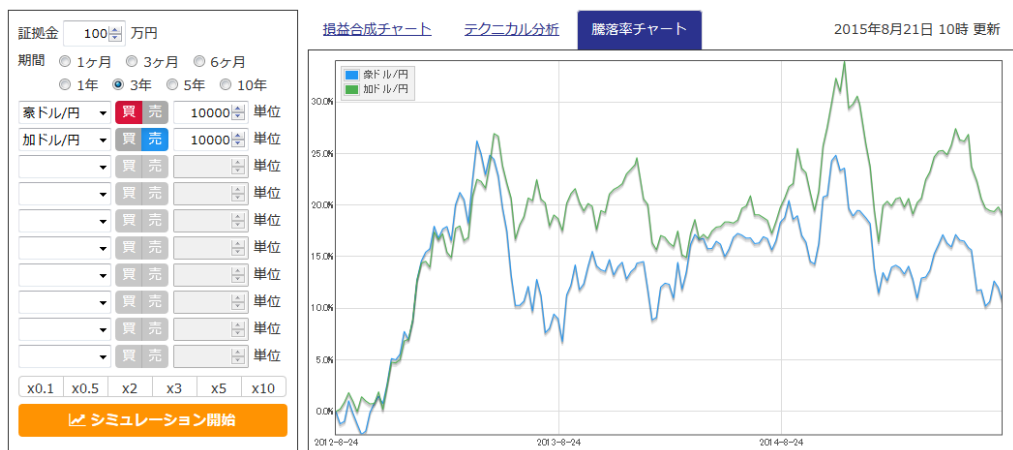
ご覧いただく分かりますと思いますが 10 年という長期間において豪ドルと加ドルは非常によく似た値動きをしている事が確認出来ます。

10 年間似た値動きをしているので 5 年・3 年・1 年で比較した場合でも当たり前ながら似たような値動きとなっています。

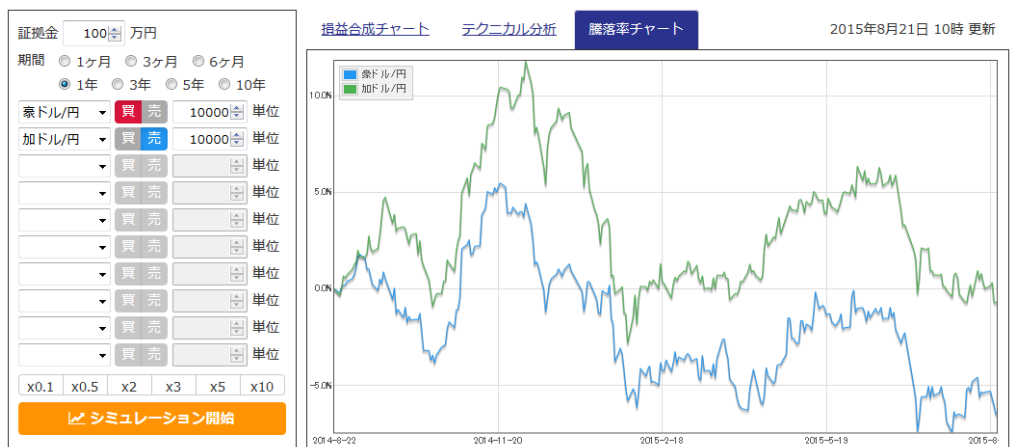
■ 豪ドルと加ドルの5年間の価格変動比較



■ 豪ドルと加ドルの3年間の価格変動比較



■ 豪ドルと加ドルの1年間の価格変動比較



2 通貨の価格推移においてサヤが開く事はありますが
長期的なトレンドは、だいたい同じであることが分かるでしょう。

チャートを重ねる事で視覚的にこのように似た値動きをする組み合わせを
探す事は出来ませんがこの似た値動きを統計の数値で表す事が出来ます。

その統計数値が「相関係数」です。

相関係数は、 $-1 \sim +1$ の間で表されます。

+1 に近いほど似た値動きとなり

0 に近いほど法則性はなく

-1 に近いほど正反対の値動きとなります。

ロングショート戦略を組む場合にはこの相関係数を意識して
組み入れを考えるとより安定した運用を行う事が出来ます。

相関係数を使ったヘッジ戦略の例としては・・・

- **相関係数が +1 に近い組み合わせを買いと売りで両建てする**
- **相関係数が 0 で法則性がない組み合わせに投資する**
- **相関係数が -1 の組み合わせで片張り取引を行う**

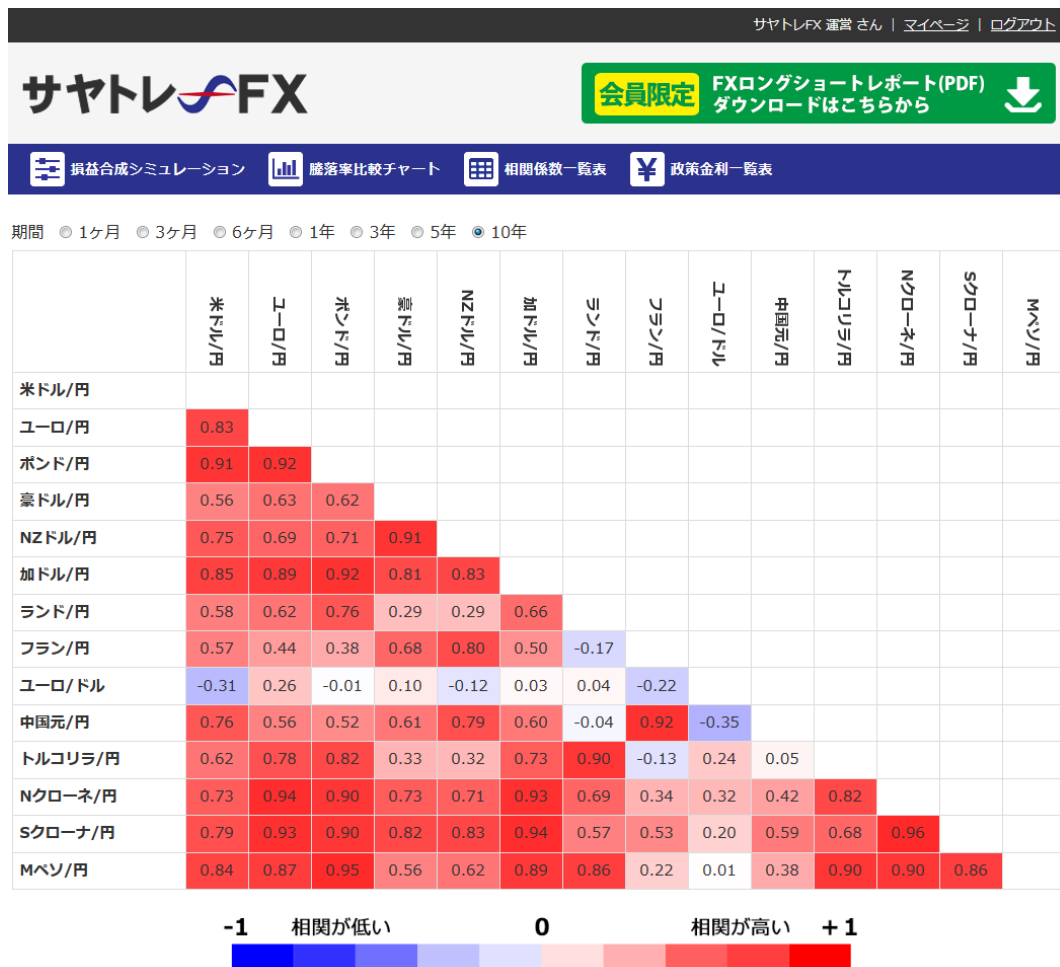
相関係数の使い方は、投資戦略によって異なりますが
2つの投資対象の値動きの法則性を調べる統計値と認識ください。

過去のデータから未来も同様となるかは分かりませんが
確率論的に未来も同じようになる確率が高いといえます。

下記のページから各通貨の相関係数一覧が確認出来るのでご利用ください。

■ 相関係数一覧表

<https://sayatrade.com/feature/correlation.php>



6 損益合成チャート

豪ドルと加ドルが長期的に連動性が高いという事がお分かりいただけたと思いますが実際にこの2通貨をロングショートした損益合成シミュレーション分析を行いたいと思います。

■豪ドル/円 1万通貨 買い (ロング)

■加ドル/円 1万通貨 売り (ショート)

(豪ドル/加ドル買い状態)

上記の組み合わせでロングショートした際の損益合成チャートがこちらです。

■豪ドルと加ドルの10年間の損益合成チャート



損益合成チャートの確認において一番重要なのは
赤い太線で表示されているチャートです。

赤い太線が損益合成のスワップ込みのチャートとなり
実際に投資家がロングショートした際の投資結果となります。

黒い太線はスワップを考慮していない損益合成チャートです。

買いの豪ドルから得られるスワップが売りの加ドルから支払うスワップよりも大きいので時間の経過と共にスワップが積み重なり赤い太線の方が黒い太線を上回って推移しています。

赤い太線が上昇している事は、投資で利益になっている事を意味します。

そして青色のチャートが豪ドル/円を買った際の損益チャートで
緑色のチャートが加ドル/円を売った際の損益チャートを表しています。

豪ドルと加ドルの損益チャートが真逆の動きをしているように見えますが
真逆の動きをしているという事は上手くヘッジが出来ているという事です。

2008年のリーマンショックの辺りを確認していただくと分かりやすいですが
買い保有している豪ドルの損益チャートは大きく下落して損失となっておりますが、同時に売っている加ドルの損益チャートは、大きく上昇しております。

結果としてリーマンショックのような暴落でも片張りよりも小さい変動推移を描いておりこれがロングショート戦略の最大メリットである**ヘッジ効果**です。

7 損益合成シミュレーション結果

豪ドルと加ドルの損益合成チャートを確認しましたが
数字でデータ化したシミュレーション結果を確認しましょう。

■豪ドルと加ドルの10年間の損益合成シミュレーション結果

損益合成シミュレーション結果							
証拠金	1,000,000 円	投資金額	1,840,000 円	レバレッジ	1.84 倍		
	シミュレーション期間			直近一年			
スワップ 合計金額	209,320 円	20.93 %	13,801 円	1.38 %			
損益合計 (スワップなし)	44,400 円	4.44 %	-60,000 円	-6.00 %			
損益合計 (スワップ込み)	253,720 円	25.37 %	-46,199 円	-4.62 %			
No	保有通貨ペア	投資単位	保有比率	スワップ 合計金額	損益 (スワップなし)	損益 (スワップ込み)	
1	豪ドル/円	買 10,000	48.88 %	366,168 円	66,300 円	432,468 円	
2	加ドル/円	売 10,000	51.13 %	-156,849 円	-21,900 円	-178,749 円	

(上記の画面は、バージョンアップにて今後は、項目が追加されます)

損益合成シミュレーション結果において
一番重要なポイントは「儲かっているか？」という点です。

長期的に投資した結果、安定した推移となりましたが
結果、損しましたでは投資する意味がありません。

投資戦略の考え方としては・・・

過去儲からなかった戦略を将来儲かるかもしれないと考えるよりも
過去に儲かった戦略なので将来も儲かる確率が高いと考えてください。

もちろん未来の事は分かりませんが過去に儲からなかった
組み入れでロングショート戦略を行うべきではありません。

よって一番重要な部分は、損益合計金額（スワップ込み）になります。

今回の例ですと 253,720 円です。

運用資金 100 万円で 10 年間投資した場合に
253,720 円利益が出たという事が分かります。

そして損益合成シミュレーション結果の下には
個別に投資を行った投資対象の個別の損益結果が表示されています。

こちらで各投資対象の成績を個別に確認する事も可能になっています。

8 ロングショート戦略の作り方

分かりやすくFXロングショート戦略を説明するために
豪ドルと加ドルの2通貨で買いと売りの組み合わせで説明を行いましたが
サヤトレLSは最大20銘柄まで投資対象でシミュレーションする事が可能です。

現在、損益合成シミュレーション対応している銘柄は、為替(FX)
世界株指数と商品先物やTOPIX1000の個別銘柄などに対応しております。

世界株指数や商品先物などが入る事によって
複合的な損益合成シミュレーションが出来るようになります。

【複合的ロングショート戦略例】

トルコリラ/円	買い	(高金利通貨)
ランド/円	買い	(高金利通貨)
NZドル/円	買い	(高金利通貨)
日経平均株価	買い	(株式)
ナスダック	買い	(株式)
金先物	買い	(商品)
加ドル/円	売り	(高金利通貨ヘッジ目的)
ユーロ/ドル	売り	(相関係数の調整目的)
NYダウ	売り	(株式ヘッジ目的)
原油先物	売り	(商品ヘッジ目的)

このような複合的に通貨や株式指数のように投資対象を決めるだけでも膨大な組み合わせが存在します。

そして各投資対象にいくら投資するか保有比率によって成績のパフォーマンス以外に損益合成チャートのブレ幅も変わってきます。

保有比率を決定した後にレバレッジをいくらまで適応するかによってリスクとリターンの調整を行った後に最後に仕掛けと決済の売買ルールも定めなければなりません。

同じ保有ポジションでも仕掛けと決済のタイミングを定義した売買ルールによって投資成績は変わります。

投資する対象を増やすほど上級者向けのロングショート戦略です。

今後長期的にバージョンアップして使いやすくしていきますのでロングショート戦略を実践する際にはサヤトレ LS をご活用ください。

またシステム搭載して欲しい機能や改良要望があれば運営までご連絡ください。

■サヤトレ LS 損益合成シミュレーション

<https://sayatrade.com/feature/simulation.php>

■サヤトレ LS 運営へのご連絡

<https://sayatrade.com/contact/>

9 FX ロングショート戦略（損益合成シミュレーション）

それではここからサヤトレ LS を活用して実際に
FX ロングショートのリポート決定から投資までの流れを説明します。

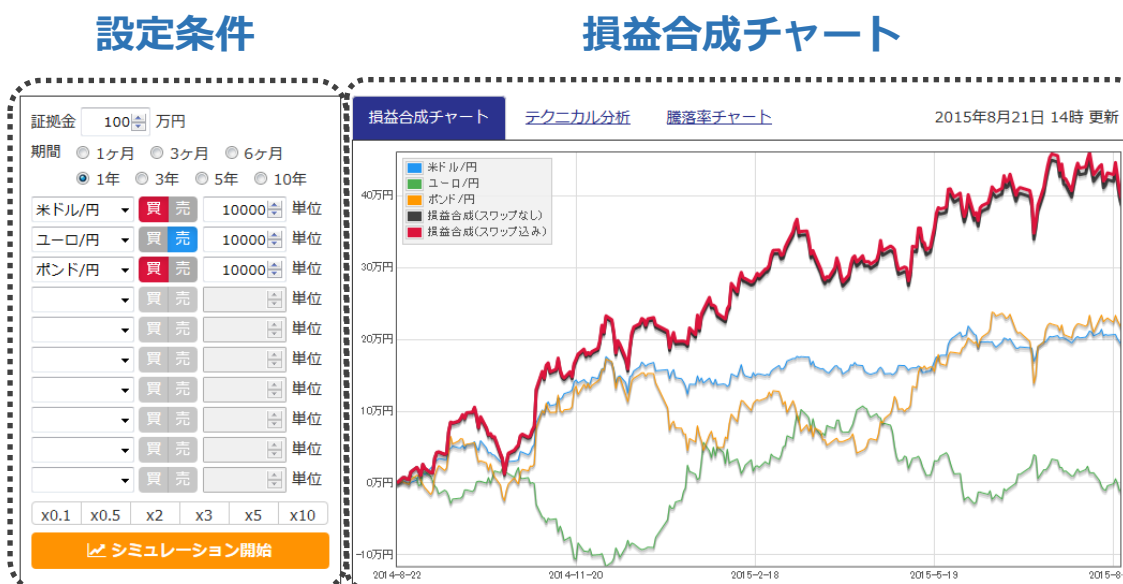
まずは損益合成シミュレーション画面にアクセスいただけます。

■ サヤトレ LS 損益合成シミュレーション

<https://sayatrade.com/feature/simulation.php>



損益合成シミュレーションの条件を入力して「シミュレーション開始」ボタンをクリックすると設定条件に該当する損益合成チャートが右側に表示されます。



今回は、高金利通貨をスワップ目的に中長期的に保有するロングショート戦略の組入れを考えたいと思います。

高金利通貨を買うためにおのずと投資する通貨は決定します。

F X会社で実際に投資出来る通貨として今回は、下記3通貨に投資すると決定しました。

【買い保有する高金利通貨】

トルコリラ/円 (政策金利 7.50%)

ランド/円 (政策金利 6.00%)

NZ ドル/円 (政策金利 3.00%)

金利の高い通貨を確認したい場合は、

下記のページから各国の政策金利一覧を確認する事が出来ます。

各国が毎月発表される政策金利を随時取得して更新しており

直近最新の政策金利を確認する事が可能となっております。

過去 10 年以上の月別推移も確認出来ますのでご活用ください。

■ 政策金利一覧表

<https://sayatrade.com/feature/interests.php>

サヤトレFX 運営さん | マイページ | ログアウト

サヤトレFX 会員限定 FXロングショートレポート(PDF)ダウンロードはこちらから

損益合成シミュレーション | 騰落率比較チャート | 相関係数一覧表 | **政策金利一覧表**

2015年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日本	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10				
アメリカ	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25					
欧州(EU)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05					
イギリス	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50				
オーストラリア	2.50	2.25	2.25	2.25	2.00	2.00	2.00	2.00				
ニュージーランド	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.25	3.00					
カナダ	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.50					
南アフリカ	5.75	5.75	5.75	5.75	5.75	5.75	6.00					
スイス	-1.25	-1.25	-1.25	-1.25	-1.25	-1.25	-1.25					
中国	5.60	5.60	5.35	5.35	5.10	4.85	4.85					
トルコ	7.75	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50				
ノルウェー	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.00	1.00					
スウェーデン	0.00	-0.10	-0.25	-0.25	-0.25	-0.25	-0.35					
メキシコ	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00					

10 FX ロングショート戦略（保有比率の調整）

買い保有する 3 通貨が決定しましたので
まずはこの 3 通貨の損益合成チャートを確認してみます。

今回は、中長期保有する事を考えてシミュレーション期間は 5 年を選びました。

■ 高金利 3 通貨の損益合成チャート



上記 3 通貨に買いで投資した損益合成チャートにおいて
注目していただきたいポイントが 2 つあります。

1 つ目のポイントは、損益合成チャートで一番重要な
赤色の太いチャートが NZ ドル/円チャートとほぼ連動しているという点。

2 つ目のポイントは、緑色のチャートのランド/円の損益チャートが
ほとんど動いていないという点です。

これは買い保有する高金利 3 通貨ともに同じ通貨単位で投資しているためにこのような損益合成チャートになっています。

世界の 1 通貨の価値は各国毎に違います。

1 リラ = 約 42 円 ・ 1 NZ ドル = 約 81 円 ・ 1 南アランド = 9.4 円

10,000 トルコリラ = 約 42 万円の投資

10,000 ランド = 約 10 万円の投資

10,000 NZ ドル = 約 81 万円の投資

円換算した際の価値が違うので投資する通貨に対して保有比率を考えて投資する通貨単位を設定しなければなりません。

No	保有通貨ペア	投資単位	保有比率	スワップ 合計金額	損益 (スワップなし)	損益 (スワップ込み)
1	トルコリラ/円	買 10,000	31.48 %	155,654 円	-144,220 円	11,434 円
2	ランド/円	買 10,000	7.08 %	27,356 円	-22,397 円	4,959 円
3	NZドル/円	買 10,000	61.43 %	101,933 円	208,100 円	310,033 円

今回のケースではNZドル/円の保有比率が飛びぬけて高くランド/円の保有比率が低くなっております。

上記の保有比率のパーセンテージを確認して投資したい通貨の組入れ比率を設定条件の単位数を変更して微調整を行ってください。

今回は、高金利な通貨ほど多く保有したいと考えて
下記のような保有比率のイメージで投資しようと思います。

【買い対象の保有比率】

トルコリラ/円 (保有比率 50%)

NZ ドル/円 (保有比率 40%)

ランド/円 (保有比率 10%)

そう考えた場合投資する単位は下記のようになります。

No	保有通貨ペア	投資単位	保有比率	スワップ 合計金額	損益 (スワップなし)	損益 (スワップ込み)
1	トルコリラ/円	買 4,000	48.77 %	62,262 円	-57,688 円	4,574 円
2	ランド/円	買 10,000	27.44 %	27,356 円	-22,397 円	4,959 円
3	NZドル/円	買 1,000	23.79 %	10,193 円	20,810 円	31,003 円

保有比率はあくまでもイメージであり F X 会社によって
最低投資単位が異なるので理想とする比率で完璧に設定するのは難しいです。

最近では、1 単位毎に投資出来る F X 会社も存在しますので保有比率を
完璧に調整したい場合には、1 単位毎に投資出来る F X 会社をお選びください。

■ 1 単位から投資可能な F X 会社

<http://investars.jp/about/sbifx.html>

11 FX ロングショート戦略（ヘッジ対象の選定）

買い対象と保有比率まで決定したら、それらの価格変動リスクをヘッジする目的とした売り対象と保有比率を同様に決定しなければなりません。

現状で長期保有し続けた場合、円安トレンドの時には大きく儲かりますが円高トレンドに入った際には、スワップ以上に為替差損が発生してしまいます。

高金利通貨とよく似た値動きをする投資対象を反対売買で組入れる事によって全体の損益合成チャートの触れ幅を抑えつつ損益合成チャートは右肩上がり、かつスワップはプラスとなる組み合わせを探すのです。

100%ヘッジは不可能ですがリスクをヘッジするための考え方です。

今回は、比較的高金利通貨と連動性が高く、売りスワップの安い加ドル/円保有通貨と相関性の低いユーロ/ドルをヘッジ使う事にしました。

【売り対象の保有比率】

加ドル/円 (保有比率 60%)

ユーロ/ドル (保有比率 40%)

そしてロング（買い）とショート（売り）の比率を 50 : 50 に近づけて設定しようと考えているために損益合成チャートを確認しながら投資する単位の微調整を行いシミュレーションを行い保有比率を決定します。

（ヘッジ対象選定のポイントは後述）

■ 損益合成シミュレーション

No	保有通貨ペア	投資単位	保有比率	スワップ 合計金額	損益 (スワップなし)	損益 (スワップ込み)
1	トルコリラ/円	買 4,000	25.07 %	62,262 円	-57,688 円	4,574 円
2	ランド/円	買 10,000	14.11 %	27,356 円	-22,397 円	4,959 円
3	NZドル/円	買 1,000	12.23 %	10,193 円	20,810 円	31,003 円
4	加ドル/円	売 2,000	27.75 %	-7,564 円	-22,940 円	-30,504 円
5	ユーロ/ドル	売 1,000	20.84 %	-2,104 円	16,376 円	14,273 円

今回は、上記のような組み合わせと保有比率で投資する事にしました。

上記の組み合わせで保有した際の損益合成チャートはこのような形となります。



仕掛けからドロウダウンとなっておりますが高金利スワップの獲得を目指した戦略のため時間の経過と共に赤色の損益合成チャートが黒色を大きく上回って推移しているのが特徴です。(上記のチャートで仕掛けのタイミングは後述)

12 FX ロングショート戦略（組入れの選定ポイント）

今回は、加ドル/円 2,000 とユーロ/ドル 1,000 売り対象と決めましたが
実際には、損益合成チャートとシミュレーション結果を何度も確認します。

どのようにヘッジすれば出来るだけ安定して
利益を狙う事が出来るのか考えなければなりません。

FX だけに限らずロングショート戦略の組み方について
どのような点に注目すべきかポイントを 3 つ解説します。

ポイントは大きく分けて 3 つです。

【ポイント 1】

直近 1 年間で儲かっている組み合わせとする

（赤色のチャートが右肩上がりになっている）

【ポイント 2】

売買の保有比率を考える

（金融危機発生時にどのような値動きをするかをイメージ）

【ポイント 3】

損益合成チャートの触れ幅は少ない組み合わせを選ぶ

（標準偏差とシャープレシオを確認する）

■ポイント 1：直近 1 年間で儲かっている組み合わせとする

投資は、利益が目的となりますので絶対条件として赤色のスワップ込みの損益合成チャートが右肩上がりになるような組み合わせでなければなりません。

過去の値動きが今後も継続する保証はありません。

しかし投資は、人が判断した結果が過去推移となりますので同じ人が金融市場にいる限り未来もまた同じように動く可能性が高いです。

金融市場も人も日々進化しているのでルールが変わる事もありますが過去に利益となっているのが大前提として組み合わせの選定を行ってください。

■ポイント 2：売買の保有比率を考える

買いと売りの保有比率を調整する事で組み合わせ対象と同様に相場の変動をヘッジする事が可能です。

ロングショート戦略でも円安トレンドに強めに賭ける事も出来れば円高局面ではヘッジを強めるなど買いと売りに対する保有比率の比重を調整する事が可能です。

そして必ずしも「買い・売り」という組み合わせがヘッジになるとは限りません。

逆相関ペアの場合は、「買い・買い」「売り・売り」にする事でヘッジとなります。

そのためには組入れる投資対象が金融危機が発生した場合にどちらに動くような特性があるのかをしっかりと事前に理解しておく必要があります。

■ポイント3：損益合成チャートの触れ幅は少ない組み合わせを選ぶ

損益合成チャートでは損益結果がどのような推移を描いているかの確認が出来ますがその損益チャートの振れ幅を数値としても知る事が可能です。

損益合成チャートの振れ幅を数値化したのが「標準偏差」という数字です。

「標準偏差」は、変化のバラツキを表しており
投資の世界では「リスク」と言い換えられてよく使われます。

投資の世界でいう「リスク」とは、一般的な意味で使われる
危険性という意味とは少しニュアンスが違います。

投資の世界でリスクとは、将来の値動きが予想出来ない可能性を意味します。

投資業界でリスクの大きさとは、値動きの振れ幅の事を言うのです。

損益合成チャートの結果が最終的に大きな利益になっていたとしても
保有期間中に一度大きく暴落していた場合には、実際に投資していたとすると
精神的に耐える事が出来ずに決済してしまふ事になる可能性が高いでしょう。

値動きが大きい = 標準偏差の数値が大きい = リスクが高い

上記の公式となり標準偏差が出来るだけ小さくなる
組み合わせと比率を探してリターンを狙っていただくのがお勧めです。

そしてこの標準偏差（リスク）と損益（リターン）の関係性を数値で表したのが「シャープレシオ」という数値です。

シャープレシオ = リターン ÷ リスク

リターンとリスクの定義方法によっても結果が変わりますがシャープレシオの数値が大きいほど・・・

= 「リスクの割にリターンが大きい」

= 「効率よくリターンを上げている」

= 「運用成績が優れている」

上記のように考えてください。

■ 損益合成シミュレーション結果の標準偏差とシャープレシオ

損益合成シミュレーション結果					
証拠金	1,000,000 円	投資金額	4,473,700 円	レバレッジ	4.47 倍
	シミュレーション期間		直近一年		
スワップ合計金額	6,797 円	0.68 %	9,745 円	0.97 %	
損益合計 (スワップなし)	617,500 円	61.75 %	315,700 円	31.57 %	
損益合計 (スワップ込み)	624,297 円	62.43 %	325,445 円	32.54 %	
標準偏差		25.73 %		12.87 %	
シャープレシオ		2.43		2.53	

13 FX ロングショート戦略（レバレッジの決定）

組入れ対象と保有比率が決定したら
実際に投資を行うレバレッジを決定します。

FXに限らずほとんどの投資は、実際の運用資金のよりも多い
数倍のレバレッジを活用することが出来ます。

保有比率が決定すれば後は、投資する際のレバレッジの調整を考えます。

このレバレッジの調整が非常に重要で最終的に
リスクとリターンを決定付けると言っても過言ではありません。

どのような優れた投資戦略でも必ず一時的に損失となる事があります。

仕掛けたタイミングから1日も損失とならずに
右肩上がりに推移するような投資は存在しません。

この損失の事をドローダウンと呼びます。

株式の信用取引の場合は、最大3倍となっておりますがFXは最大25倍と
非常に資金効率がよいので大きなレバレッジとかけた際に途中のドローダウン
で証拠金が枯渇して強制的に損切り決済されてしまう可能性があります。

相場が急落しても運用資金が枯渇しなレバレッジと聞くと
「レバレッジは最大いくらに設定したらよいのか？」

上記のようなご質問をよくいただきますが
残念ながらこの質問に正解は存在しません。

なぜならば**戦略と売買ルールによって正解が異なる**からです。

瞬間的なトレードとして仕掛けてすぐに決済するような投資手法であれば
大きく 25 倍レバレッジを賭けて投資を行っても問題ないケースもあります。

しかし長期的に保有する場合に 25 倍のフルレバレッジで
投資を行えば途中のドローダウンで運用資金は枯渇する事でしょう。

FX で失敗しやすく一番注意が必要なポイントは**レバレッジの設定**です。

投資の世界では、想定外の事が常に起こります。

想定外が発生する事を想定内にして投資を行ってください。

コツコツ積み上げて稼いだ投資の利益が想定外の金融危機によって
全て吐き出してマイナスになる個人投資家がほとんどです。

突発的な想定外が起こっても耐えられるレバレッジをで投資する事が大切です。

サヤトレLSでは、シミュレーション条件の下部にレバレッジの調整ボタンを用意しております。

保有比率を固定したままレバレッジを変更する事が可能となっています。

証券金 100 万円
期間 1ヶ月 3ヶ月 6ヶ月
 1年 3年 5年 10年

トルコリラ/	買 売	4000	単位
ランド/円	買 売	10000	単位
NZドル/円	買 売	1000	単位
加ドル/円	買 売	2000	単位
ユーロ/ドル	買 売	1000	単位
	買 売		単位
	買 売		単位
	買 売		単位
	買 売		単位
	買 売		単位

x0.1 x0.5 x2 x3 x5 x10

シミュレーション開始

証券金 100 万円
期間 1ヶ月 3ヶ月 6ヶ月
 1年 3年 5年 10年

トルコリラ/	買 売	24000	単位
ランド/円	買 売	60000	単位
NZドル/円	買 売	6000	単位
加ドル/円	買 売	12000	単位
ユーロ/ドル	買 売	6000	単位
	買 売		単位
	買 売		単位
	買 売		単位
	買 売		単位
	買 売		単位

x0.1 x0.5 x2 x3 x5 x10

シミュレーション開始

レバレッジ変更機能

保有比率固定して変更可能

比率固定したままレバレッジを変更する事によって過去最大のドローダウンに耐えられるレバレッジを検証ください。

どの程度リスクを許容できるかは、投資家の考えによって異なりますが中長期保有の投資を考えた場合に-30%資産を失うと精神的に厳しくなります。

スワップ込みで-30%を目安にレバレッジ設定を考えました。

今回のロングショートを組み合わせた例において最大ドローダウンが
 -30%以内で収まるレバレッジ（4倍）の損益合成チャートを確認します。

■レバレッジ調整を行った損益合成チャート



損益合成シミュレーション結果

証拠金	1,000,000 円	投資金額	4,001,850 円	レバレッジ	4.00 倍
-----	-------------	------	-------------	-------	--------

	シミュレーション期間		直近一年	
スワップ 合計金額	540,858 円	54.09 %	131,904 円	13.19 %
損益合計 (スワップなし)	-395,031 円	-39.50 %	-33,517 円	-3.35 %
損益合計 (スワップ込み)	145,827 円	14.58 %	98,387 円	9.84 %

No	保有通貨ペア	投資単位	保有比率	スワップ 合計金額	損益 (スワップなし)	損益 (スワップ込み)
1	トルコリラ/円	買 24,000	25.07 %	373,570 円	-346,128 円	27,442 円
2	ランド/円	買 60,000	14.11 %	164,135 円	-134,382 円	29,753 円
3	NZドル/円	買 6,000	12.23 %	61,160 円	124,860 円	186,020 円
4	加ドル/円	売 12,000	27.75 %	-45,384 円	-137,640 円	-183,024 円
5	ユーロ/ドル	売 6,000	20.84 %	-12,623 円	98,259 円	85,635 円

自社運営サイト

株・為替(FX)チャートをリアルタイム表示！
 みんなでコメントしよう！
 買いか... 売注文... これほ買... キタコレ!

Market live

無料登録

株価が上がっても下がっても
 利益が出せるサヤ取り投資！

サヤ取り投資に最適な銘柄ペアを自動で
 検索できる無料ツール!! 無料で使ってみる▶

サヤ取り投資で
 今注目の銘柄が
 ランキングで分かる!

お気に入り登録
 コメント機能

サヤ取りリンク 全て無料で使えます▶

保有比率は固定されていますので損益合成チャートの計上に変化はありません。

しかしレバレッジを変更しているので投資成績結果が大きく変わっています。

損益合成シミュレーション結果を確認しながらリスクとリターンを考慮してご自身の戦略で最適なレバレッジを考えて投資を行ってください。

そして今回のケースでは結果的に利益にはなりますが仕掛けからすぐに-30%のドロウダウンという最悪なケースとなっています。

もし仮に5年前のスタート時投資していた場合を考えると精神的には辛い保有となっていたと考えられます。

実際に仕掛けを行う際は、スタート時が投資タイミングではなくシミュレーション結果から得られた損益合成チャートを確認して最適な仕掛けのタイミングで投資を行うようにしてください。

最悪のケースを想定して損益合成シミュレーションを行う事がリスクを抑える考えとして一番お勧めです。

そして中長期保有の例として-30%という数字で説明を行いましたがこの数字でレバレッジを賭けるのが最適という訳ではありません。

次章の実践編の最後の売買ルールにて説明しますがもっと大きくレバレッジを賭けてもドローダウンが-10%で損切りを行うというルールで運用を行えば仕掛けるタイミング次第でより大きいリターンを獲得出来るケースもあります。

全ては投資家自身の戦略によってレバレッジの設定は変わります。

慣れないうちは、レバレッジ5倍までのように

ご自身で制限を設けて取引を行っていただくのがよいと思います。

繰り返ししつこくなりますが多くの投資家がFXで失敗する

最大の理由はレバレッジの賭けすぎによるものです。

相場が予想と反対に動く事はよくある事です。

円安トレンドが数年続いていたとしてもトレンドはある日突然変わります。

ある日突然寝ている間に相場が急落して一瞬で証拠金不足となり

強制ロスカットされて保有ポジション全てが無くなってしまふ事もあります。

しつこくなりますがくれぐれレバレッジの設定にはご注意くださいませ。

14 FX ロングショート戦略（売買ルールの作成）

実践編の最後となりますが組入れ対象、保有比率、レバレッジまで全てが決定したら最後に仕掛けと決済のルールを決めます。

仕掛けるタイミングと損益合成チャートが予想通りに動かなかった場合を想定して仕掛ける前からちゃんと損切りルールを考えておかなければなりません。

そんな仕掛けと決済のタイミングに活用していただきたいのが損益合成チャートのテクニカル分析機能です。

■ 損益合成チャートのテクニカル分析



損益合成チャート（スワップなし）を移動平均線で表示しております

現在、損益合成チャートのテクニカル分析機能は
シンプルに損益合成結果の移動平均線を採用しております。

【移動平均線の定義】

短期 = 5 ・ 中期 = 25 ・ 長期 75

この移動平均線の使い方としては、基本的に通常の投資で使う移動平均線と同様にトレンドを確認する目的でご活用いただければと考えております。

ゴールデンクロスやデッドクロスもある程度有効です。

上記の損益合成チャートにおいて緑色の長期移動平均線を抵抗線とするかのように継続して上昇し続けている事が分かるかと思えます。

全ての組み合わせにおいて機能するわけではありませんが
為替も株価も正しい価値を世界中の投資家が判断して投資します。

一定の水準に達した場合には、下げ止まり上げ止まりがあるのです。

今後も損益合成チャートのテクニカル分析機能は、ユーザーの声を聞き入れて効果の高そうなテクニカル分析機能を取り入れていく予定です。

テクニカル分析機能の活用は投資家ご自身となりますが
仕掛けと決済のタイミング判断の一つとして活用してください。

極論として投資の真髄になりますが・・・
上がりそうなタイミング仕掛けて
下がりそうなタイミングで決済するしかありません。

テクニカル分析を活用してシステムチックに投資タイミングを定義する事も可能ですし、仕掛けを行った後に-5%のドロウダウンで決済するなど独自に売買ルールを制定する事も可能です。

少ないドロウダウンで決済ルールを作成してタイミングをよく仕掛けを行うのであれば多少レバレッジを高めにも投資しても良いかもしれません。

売買ルールがないといざ想定外の事態に正しい行動を取る事が出来ません。

仕掛ける前にどうなったら仕掛けてどうなったら
決済するのかをご自身で事前に定めて投資を行ってください。

そして仕掛けを行ったあとも定期的に損益合成チャートの推移を確認するようにしてください。

価格変動により全体の保有割合も変わってきます。

最低でも1週間に1度は以上は損益合成チャートを確認して思った通りの損益合成チャートとなっているか確認しリバランスを考える事が大事です。

15 FX ロングショート戦略（まとめ）

■ 買う対象を決定する

（高金利通貨・今後上昇すると予測する投資対象など）



■ 買う対象の保有比率を決定する

（分散投資を心がけて 1 つの対象に偏って投資させない）



■ ヘッジ目的の売り対象を決定する

（ヘッジ目的として相関係数を参考にヘッジ対象を探す）



■ ヘッジ目的の売り対象の保有比率を決定する

（買い 50 : 売り 50 のニュートラル状態を基本としてリスクを抑える）



■ レバレッジを決定する

（過去のドロウダウンを参考に資金枯渇しないように計算する）



■ テクニカル分析を活用して売買ルールを作成する

（仕掛けるタイミングと決済のタイミングを予め決めて投資する）

16 最後に

サヤトレLSは、2015年8月にリリースしたサイトであり日々、ユーザーの要望を聞き入れてバージョンアップを行なっております。

今後もロングショート戦略に特化したシステムとしてユーザーの声を聞き入れて改良・バージョンアップしていく考えです。

ニッチなサービスではございますが金融機関出身で投資について分かる者達によって「個人投資家に役立つ情報」をテーマにシステム開発を行っております。

新機能の追加及びシステム改善などのバージョンアップがあった際にお客様が改めて再インストールしていただく必要も一切なく運営側の更新によってバージョンアップは自動で完了します。

サイト及びシステムの改善・改良・不具合のご報告は運営までお願いします。

■ サヤトレLS運営へのお問い合わせ
<https://sayatrade.com/contact/>

その他に弊社では個人投資家に役立つ投資ツールやサイトを運営しております。

個人投資家は孤独であり、投資の最大の敵は自分自身の感情です。

弊社が提供するサービスや情報が投資のヒントとなり個人投資家の資産運用にお役立ていただければ参考になれば幸いです。

【株式会社サヤトレ運営 WEB サービス】

- サヤ取り投資ペア検索ツール 『サヤトレ』

<https://investars.jp/>

- ロングショート戦略分析システム 『サヤトレ LS』

<https://sayatrade.com/>

- サヤ取り投資ペアランキングサイト 『サヤ取りランク』

<https://sayatori.net/>

- 一緒のチャートで会話ができる！ 『マーケットライブ』

<https://market-live.jp/>

- サヤ取り投資と経済が分かるブログ

<http://sayatore.com/blog/>

ディスクレームー及びリスク事項説明

投資判断の材料・情報提供を目的としたものであり投資の勧誘を目的としたものではありません。最終的な投資の判断は自己責任にて行ってください。また、各種情報の内容については万全を期しておりますが、その内容・有益性を保証するものではありません。これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当方および本情報提供者は一切の責任を負いかねますので御了承ください。

株式会社サヤトレ

support@sayatrade.com